

## 平成29年度 福岡市学習定着度に関する調査結果（中2）について

平成29年11月28日に行われた福岡市学習定着度に関する調査の結果ができましたので、本校の結果概要をお知らせします

### 2年生国語

#### <分析>

- ・本校の国語の平均正答率は、福岡市の平均と同程度であるという結果であった。
- ・観点別で見ると、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質」に関する事項は、福岡市の平均を上回っている。
- ・「読むこと」は福岡市の平均と同程度であるが、「書くこと」に関しては2%ほど福岡市の平均を下回る結果となった。

#### <対策>

- ・語彙に関しては単元ごとに新出漢字の確認や小テストを行ったことが結果へと繋がったと考える。
- ・授業中に条件を絞って「書く」時間を確保したり、良い意見と自分の意見を見比べる時間を確保したりするなど、工夫した授業展開を行いたい。
- ・「読むこと」に関しては、授業中にワークを解く時間や単元が終わるごとに単元小テストや実践問題を解く時間を確保していきたい。

### 2年生数学

#### <分析>

- ・本校の数学の平均正答率は、福岡市の平均正答率と比べ同程度であるという結果であった。
- ・「数量や図形などについての知識・理解」「数学的な見方や考え方」は、福岡市平均と同程度であるが、「数学的な技能」が2%ほど上回っている。
- ・「各領域の小問題」「資料の活用」は、福岡市の平均を上回っていて、その他の単元は、福岡市の平均と同程度である。

#### <対策>

- ・基礎基本の問題は定着してきているので、発展的な問題も解けるよう取り組む数を増やしていく。
- ・授業中はほとんどの生徒が出来ているが、時間が経つと忘れてしまうことがあるため、同じ問題を何度も繰り返すなどして、内容を定着させられるよう努力していく。
- ・「図形」については、授業中に図を見せることで生徒たちが視覚的に捉えやすいよう配慮し、もっと身近になる授業を心掛けていく。